

地域創造学類カリキュラムマップ(地域協働プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
地域協働プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共社会、地域活性化	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤	
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域協働	
② 技能・表現	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <p>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</p> <p>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</p> <p>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</p> <p>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</p> <p>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</p> <p>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</p> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	--

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35B01	現代社会論	社会学における代表的な現代社会の理論を学び、近代社会誕生以来の社会変動と生活の変化に注目しつつ、現代社会の特質についてよりよく理解し、現代社会に存在するさまざまな問題や矛盾を発見する能力を養うことを目指す。	モダニティ、再帰性、リスク、個人化、消費、情報	1	2年	○	◎				○	◎	
35B02	現代社会論研究	社会学における代表的な現代社会の理論を学び、近代社会誕生以来の社会変動と生活の変化に注目しつつ、現代社会の特質についてよりよく理解し、現代社会に存在するさまざまな問題や矛盾を発見する能力を養うことを目指す。	モダニティ、再帰性、リスク、個人化、消費、情報	1	2年	○	◎				○	◎	
35B03	公共社会学	人びとがともによりよく生きることを可能にする社会はいかなるものであり、どのようにして可能となるのかを検討する。そのために、社会的なもの、自由、平等、連帯、正義、そして公共性の理念について学ぶ。	社会、自由、平等、連帯、正義、公共性	1	2年	◎	○				◎	○	
35B04	公共社会学研究	人びとがともによりよく生きることを可能にする社会はいかなるものであり、どのようにして可能となるのかを検討する。そのために、社会的なもの、自由、平等、連帯、正義、そして公共性の理念について学ぶ。	社会、自由、平等、連帯、正義、公共性	1	2年	◎	○				◎	○	
35B05	市民自治論	市民による政治参加・社会参加の意義と方法について、政治史および政治理論的な背景を踏まえたうえで理解し、論じることができる。	市民自治、ステイクホルダー、公共性、熟議民主主義、合意形成	1	2年	◎	○	◎		○	○	○	
35B06	地域居住論Ⅰ	地域の居住環境を構成する空間的な要素と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)を対象に、各要素の役割や基本的な計画理念の学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	都市計画、交通計画、住まい、まちづくり、景観、農村、住民参加、防災	1	2年	◎				○	◎	◎	○
35B07	地域居住論Ⅱ	地域の居住環境を構成する空間と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)に対する理解を深めるための具体的な事例や各要素の評価・分析方法などの学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	都市計画、交通計画、住まい、まちづくり、景観、農村、住民参加、防災	1	2年		◎	◎	◎	○	◎	◎	○
35B08	景観論	「景観」という概念が発生した歴史的な経緯と変遷を理解し、これからの景観の在り方を考えるうえで必要な基礎知識を習得するとともに、景観の構成要素とその見方を学び、実際に地域を歩いて景観を読み解くための知識を習得する。	景観、まちづくり、町家、文化景観	1	2年	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
35B09	交通地理学	地域間交通や地域内交通の成立および課題について地理的条件に即して多面的に理解する。	公共交通、国土軸、都市圏、モビリティ、アクセシビリティ、ハブアンドスポーク、ゲートウェイ、高齢化	1	2年	○	◎		○		○	○	

地域創造学類カリキュラムマップ(地域協働プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
地域協働プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。=公共社会、地域活性化	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。=市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤	
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。=地域協働	
② 技能・表現	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <p>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</p> <p>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</p> <p>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</p> <p>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</p> <p>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</p> <p>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</p> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	--

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						知識・理解			技能・表現		思考・判断	関心・意欲	態度
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35B10	中山間地域の地理学	生業やまちおこしの具体例から、中山間地域における人と自然との関わり方について理解する。	中山間地域、中心周辺論、高齢化、生業、産業複合化、まちおこし、交流人口	1	2年	○	◎	○	○		○	○	
35B11	イベント経営論	イベントに関する基礎的な理論とイベント活用の実践について理解する。	イベント学、スポーツイベント、イベント文化、地域イベント	1	2年	○	◎	○			○	○	○
35B12	エンタテインメントマネジメント論	エンタテインメントの理論とマネジメント手法について理解する。	エンタテインメント業界、具体的事例(スポーツ、音楽、演劇、祭り)	1	2年		◎	◎			○	○	
35B13	生涯スポーツ論	生涯スポーツについて、我が国の地域スポーツの動向、住民のスポーツライフ、国や自治体の施策から理解する。	スポーツライフ、生涯スポーツ社会、スポーツ政策、スポーツクラブ	1	2年	◎	◎	○			○	○	
35B14	スポーツ文化論	スポーツを文化的側面から理解する。スポーツとメディアの関係について理解する。	スポーツ社会学、スポーツ文化、スポーツ観、スポーツ規範、メディアスポーツ	1	2年	○	◎	○			○	○	
35B15	スポーツ社会学	スポーツの社会学的アプローチについて理解する。スポーツを集団的側面から理解する。	スポーツ社会学、スポーツ集団、スポーツ空間、学校運動部	1	2年	○	◎	○			○	○	
35B16	日本の地域システム	日本の諸地域における経済・社会の捉え方に関する手法を理解するとともに、取り上げる事象・テーマの実態を把握する。	都市、流通と商業、商店街、中心市街地、製造業、産業集積	2	2年	○	◎	○	○		◎	◎	
35B17	北陸の地域と産業	北陸地域を事例に、主に人文地理学、経済地理学の手法を用いて、地域を多面的かつグローバル・ローカルに把握する見方・考え方を習得する。	地域性、産業、伝統工芸、地場産業、イノベーション、都市発展、北陸	2	2年	○	◎	○	○		◎	◎	○
35B18	文化と地域経済	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 地域経済学と地域政策の歴史的な展開を理解する。	地域経済学の理論、分析方法、地域政策の歴史	1	2年	○	◎		○		◎		
35B19	北陸の都市・農漁山村			1	2年								
35B20	コミュニティ・デザイン論	社会的・空間的な地域の課題について、参加のデザインで解決するコミュニティ・デザインの理念や思考技術を学ぶ。	コミュニティ・デザイン、参加のデザイン、環境的不公正	1	3年	◎	◎				◎	◎	

地域創造学類カリキュラムマップ(地域協働プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
地域協働プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。＝公共社会、地域活性化	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。＝市民自治、地域居住、地域産業・文化・経済、生活基盤	
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。＝地域協働	
② 技能・表現	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <p>1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群</p> <p>2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群</p> <p>3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群</p> <p>4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群</p> <p>5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習</p> <p>6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究</p> <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	--

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35B21	観光地経営論	地方の衰退や都市再生などの地域の課題解決に向けて、多様な担い手の協働や共生社会の創造と地域特性に合わせた地域政策を考え、観光によって結びつく地域全体の経営を学ぶ。	観光地経営、コミュニティ開発、持続可能性	1	2年	○	◎	○			◎	◎	
35B22	生活デザイン論	身の回りの物や自身の生活など様々なレベルのデザインがあることを学び、長中短期のライフデザイン(生活設計)を考える。	暮らし、生活者、生活設計	1	3年	○	◎	○	○			◎	
35B91	地域協働プログラム専門演習	地域協働領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を演習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な地域・技能を修得する。	地域協働、専門領域、方法論、演習	4	3年	○	◎	◎	◎	○	○	◎	
35B92	地域協働プログラム専門実習	地域協働領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を実習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な地域・技能を修得する。	地域協働、専門領域、方法論、実習	2	3年	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
35B93	地域協働プログラム共同演習	地域協働における多様なアプローチを理解し、地域協働プログラムにおける総合性を修得する。	地域協働、総合的アプローチ、演習	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
35402	地域創造学特別演習	卒業論文のテーマ設定や方法論、研究成果について討論し、地域創造学における専門性と総合性を学修する。	地域創造学的アプローチ、卒業研究、討論、発表会	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
35400	卒業演習	各自の関心・テーマを探究し卒業論文を執筆するための研究・実験・調査等を行うとともに、論文執筆の技法を身につける。	卒業論文、論文執筆の技法	4	4年	◎			◎	◎		◎	
35401	卒業研究	各自の関心・テーマを探究し大学での学習の集大成となる卒業論文を執筆する。	卒業論文	6	4年		◎	◎			◎		◎

開講されるクォーターは、年度ごとに公表される授業時間割表を参照してください。